

みんなでのちを守るために

災害につよい地域をつくり、備える！

# 地域で行う 防災活動

## 事例集

まち歩き「防災マップ」

災害図上訓練(DIG)



令和5年3月発行

岡山県備中県民局

地域政策部 地域づくり推進課

災害はいつ起こるかわかりません。  
いざという時、防災の大きな力になるのが、  
地域の人々が協力して災害に立ち向かう「地域防災力」です。

被災者の救出・救助や要配慮者の避難支援等、  
地域住民による共助が大きな役割を果たします。

岡山県備中県民局管内のいくつかの地域において  
地域防災力をより高めるために、楽しく学べる  
防災マップづくりや、災害図上訓練(DIG)を実施し  
それらの様子を事例集としてまとめました。  
皆様の地域でも取り組んでみませんか。



## 目次

### 1

#### 防災マップを作ってみよう！

防災マップってなあに？どんな役に立つの？	02
(1)計画をしよう！	03
(2)「まち歩き」をしよう！	04
(3)調べたことを地図にまとめよう！	05
防災マップ作成例	07

### 2

#### 災害図上訓練(DIG)をしてみよう！

災害図上訓練(DIG)ってなあに？どんな役に立つの？	10
(1)計画をしよう！	11
(2)災害図上訓練(DIG)を実践しよう！	12

### 3

#### 防災に関する研修会等に講師をご紹介します

# 1

# 防災マップを作ってみよう!

## 防災マップってなあに？

### ■ 危険な場所、役立つ場所等を書き込んだ手作りマップ

防災マップとは住民の皆さんが自分たちの地域を歩いて、災害時に危険なところや役立つ場所等は何かを考えて、地図に記入したものです。自分たちの住むまちをよく知り、防災に関する課題を見つけ、今後の防災活動を考えるきっかけとしましょう。



一方、ハザードマップは地形や地盤等の特徴により、浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の被災想定区域や避難場所等が記載された地図です。これは行政機関によって作成されます。

## どんな役に立つの？

- 自分たちのまちを再発見できる
- 地域防災の課題を考えるきっかけとなる
- 避難するときの重要な情報源になる
- 住民同士、情報交換ができる
- 地域内のつながりが強まる

# (1) 計画をしよう！

## 「まち歩き」に向けた準備の流れ

### STEP 1 実施日時や役割分担等の決定

- 「まち歩き」の日時や、参加者の役割分担、当日のスケジュール等を決めましょう。

### STEP 2 歩く範囲や調べる内容の決定

- 「まち歩き」の範囲やチェックする場所等を決め、点検チェックシートを準備しましょう。(P.06参照)

### STEP 3 必要人数の見込みと地域住民への周知

- 必要な人数を見込んで十分な協力が得られるようPRをしましょう。

### STEP 4 会場の手配

- 当日の集合場所や地図の作成場所となる会場を手配しましょう。(公民館、集会所等)

### STEP 5 地図の用意

- 防災マップのベースとなる地域の地図(できれば白地図)を準備しましょう。小さい地図(A4サイズ等、「まち歩き」の際に持っていく)と大きい地図(A0サイズ等、「まち歩き」で調べた場所等をまとめる)が必要です。

👉 市町村の防災担当課に利用目的を伝え、相談してみるのも一つの方法です。

### STEP 6 準備物の手配

## 準備するもの





# (2)「まち歩き」をしよう!

実際に、自分たちの地域を歩きます。チェックシート(P.6)を参考に、避難場所や危険な場所、役立つ場所等を地図と写真表に書き込みながら確認をします。確認したところは写真を撮っておきましょう。

## 「まち歩き」実践の流れ

安全に十分留意して行いましょう!

### 1 地図(A4サイズ等)をもって、自分たちの地域を歩きます。

👉 防災の視点で歩くことで地域の強み弱みが発見できます。



▲写真表

### 2 見つけた場所等を写真に撮る。

👉 どの写真かわかるよう  
写真表に記録し、白地図上にも  
番号を書きましょう。



◀白地図

### 3 地域内の危険な場所や役立つ場所を見つけ地図に記入する。

◎ 安全な場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所</li> <li>指定避難所</li> <li>公民館や集会所</li> <li>その他避難できそうな場所(公園や広場等) 等</li> </ul>
★ 災害時に役立つ場所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火栓</li> <li>消火器</li> <li>防火水槽</li> <li>井戸</li> <li>消防機庫</li> <li>公衆電話</li> <li>公衆便所</li> <li>病院、医院</li> <li>商店(薬局、ホームセンター、コンビニ、スーパー等)</li> <li>掲示板 等</li> </ul> <p>👉 災害時に力になってくれる商店や企業と連携を結ぶことに繋げましょう!</p>
⚠️ 危険な場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭い道</li> <li>行き止まり</li> <li>危険な斜面</li> <li>水路</li> <li>瓦が落ちてきそうな空家</li> <li>倒壊の恐れのある大きな看板、ブロック塀 等</li> </ul>
👤 地域の人	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に力になってくれる医師や看護師、介護士等</li> <li>フォークリフト等重機を運転できる人</li> <li>配慮が必要な方、一人暮らしの方 等</li> </ul> <p>👉 地域の人と情報交換をしながら歩きましょう!</p>

# (3) 調べたことを地図にまとめよう!

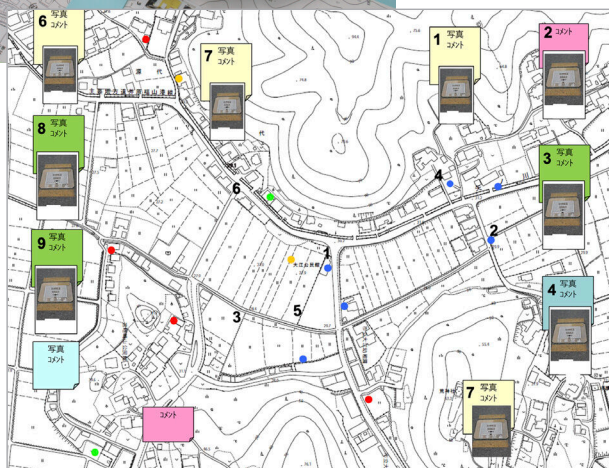
## 4 地図に調べた場所等を記入する。

作業する会場で大きい地図(A0サイズ等)を囲み、「まち歩き」で調べた場所やモノ等を地図上に記入する。

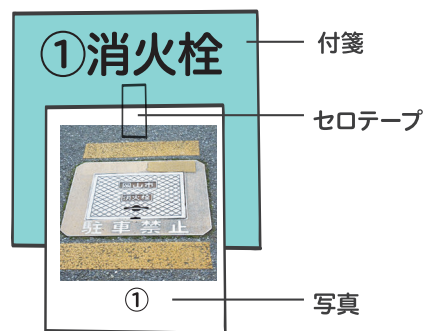
## 5 主な道路や線路、用水、ため池等に色を塗る。

## 6 撮った写真と付箋(色別)を地図に貼る。

(調べた場所等が視覚的に確認できるようにする)



### ■ 写真と付箋の貼り方



### ■ 付箋の色分け(例)

■	安全・安心な場所
■	災害時に役に立つ場所
■	危険・注意すべき箇所
■	その他見つけた事柄

## 7 防災の視点で地域の強みや弱みをみんなで確認する。

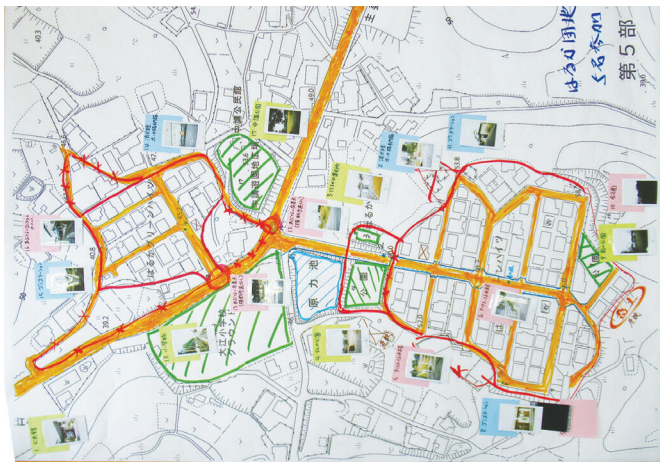
## 8 災害時に力になってくれる商店や企業を確認する。

(災害時の協力協定等を結ぶことに繋げる。)

👉 作成した防災マップを基に、A3サイズ程度の用紙に清書し、必要箇所に配布します。できれば地域内の全世帯に配布するのが望ましいでしょう。余白部分を利用して、緊急連絡先等を追加すればより便利です。

👉 防災マップに正解はありません。自分たちの防災により役立つよう住民の皆さんで工夫してみましょう!






## ■「まち歩き」で調べる場所やモノのチェックシートの例

<input type="checkbox"/> 指定緊急避難場所（広域避難場所・一時避難場所）	<input type="checkbox"/> 防災無線
<input type="checkbox"/> 指定避難所	<input type="checkbox"/> 消防機庫
<input type="checkbox"/> 福祉避難所	<input type="checkbox"/> 防災倉庫
<input type="checkbox"/> 公民館、集会所	<input type="checkbox"/> ため池
<input type="checkbox"/> 公園	<input type="checkbox"/> 水路
<input type="checkbox"/> 駐車場	<input type="checkbox"/> 危険箇所（柵の無い水路等）
<input type="checkbox"/> 空地	<input type="checkbox"/> 危険区域（土砂災害警戒区域等）
<input type="checkbox"/> 防火水槽	<input type="checkbox"/> 過去に土砂災害のあった所
<input type="checkbox"/> 病院・医院	<input type="checkbox"/> 掲示板
<input type="checkbox"/> 力になってくれる商店 （スーパー、コンビニ、ホームセンター、飲食店等）	<input type="checkbox"/> ゴミステーション（※掲示板代わりに使えることがあります）
<input type="checkbox"/> 消火栓	<input type="checkbox"/> 井戸
<input type="checkbox"/> ホース格納庫	<input type="checkbox"/> 公衆電話・公衆便所
<input type="checkbox"/> 消火器	<input type="checkbox"/> 土嚢置き場
	<input type="checkbox"/> ガソリンスタンド

## ■ 凡例（例）

 指定緊急避難場所	 防火水槽	 防災無線	 危険区域
 指定避難所	 病院・医院	 消防機庫	 掲示板
 公民館、集会所	 力になってくれる商店	 防災倉庫	 ゴミステーション
 公園	 消火栓	 ため池	 井戸
 駐車場	 ホース格納庫	 水路	 公衆電話
 空地	 消火器	 危険箇所	 土嚢置き場

# 防災マップ作成例

## 高島地区 防災マップ

いろいろな情報を記入して、我が家の防災マップを作りましょう。

### 高島地区 防災5ヶ条

#### 災害が起きたら

1. わが身の安全確保 落ち着いてすばやく避難
2. 家族・島民に声かけ助け合いましょう

#### 日頃から出来る事

3. 備蓄（食料・水）非常持出品の準備
4. 島民の把握
5. 安全な避難ルート確認

### わが家の避難場所

### 家族の集合場所 (家族が離れ離れになった場合)

### 防災メモ

笠岡市(災害対策本部)	00-0000
笠岡市(危機管理課)	00-0000
笠岡消防署	00-0000
笠岡警察署	00-0000
高島公民館	00-0000
神島外公民館	00-0000
神島外小学校	00-0000
神島外中学校	00-0000
海上保安庁	00-0000

### 家族や親戚の連絡先

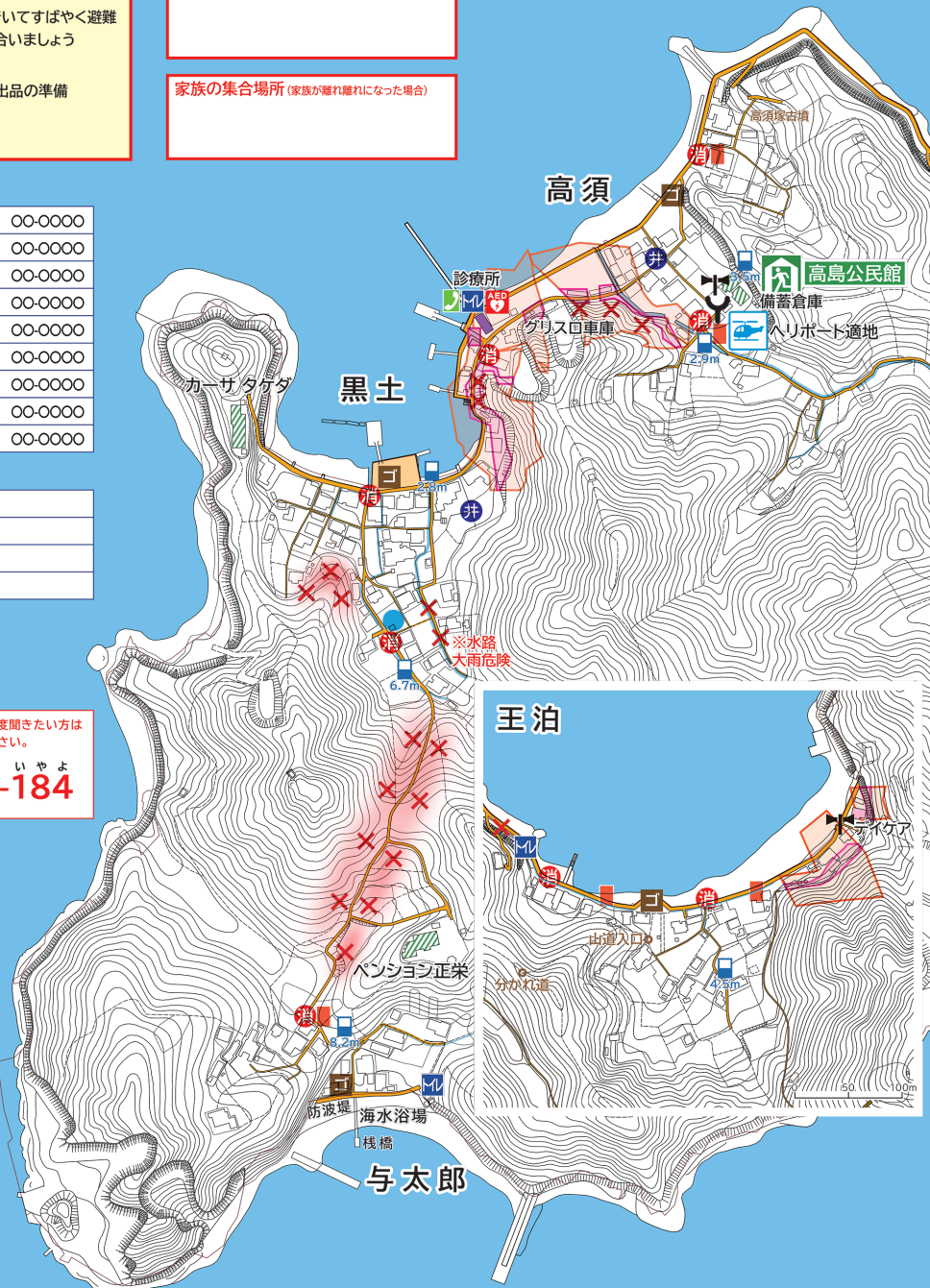

### 防災行政無線確認ダイヤル

放送が聞き取れなかったり、もう一度聞きたい方は下記の自動応答の電話をご利用ください。

フリーダイヤル つなみ いやよ  
0120-273-184

### 最低限そろえておきたい非常持出品

<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 貴重品
<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> 非常持出品に入れてチェックしましょう	<input type="checkbox"/> 保険証などのコピー
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 印章
<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 車や家の予備の鍵
<input type="checkbox"/> 日用品	<input type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> 予備の電池	<input type="checkbox"/> ライター
<input type="checkbox"/> レジャーシート	<input type="checkbox"/> ラップ
<input type="checkbox"/> カムフラージュ	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> 万能はさみ	<input type="checkbox"/> 筆記用具
<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> 救急薬品
<input type="checkbox"/> 手拭	<input type="checkbox"/> 常備薬など
<input type="checkbox"/> 下着	
<input type="checkbox"/> 靴下	
<input type="checkbox"/> タオル	



	指定避難所		ダイケア		危険箇所		井戸		公共トイレ		急傾斜特別警戒区域
	一時避難所		消火栓		危険区域		防災無線		ゴミステーション		急傾斜警戒区域
	空き地		ホース格納庫		防火水槽		AED (自動体外式除細動器)		自動販売機		ヘリポート適地
	診療所		消防機庫		水路		海拔表示		公共電話		

0 50 100m 作成 2023年3月



# 大江地区 第1部・第5部 防災マップ

いろんな情報を記入して、我が家の防災マップを作りましょう。

## 大江地区 第1部・第5部 防災7ヶ条

### 災害が起きたら

1. 救助の必要な人をみんなでお世話しよう
2. 一人で行動しない、二人以上で行動しよう
3. 隣近所で声掛け合って行動しよう

### 日頃から出来る事

4. 家族、地域で防災意識を高めよう
5. とおり近所とのコミュニケーションを図ろう
6. 救助の必要な人の住まいの把握をしておこう
7. 家具の転倒防止をしておこう

わが家の避難場所

家族の集合場所 (家族が離れ離れた場合)

## 災害伝言ダイヤル「171」

### 録音する

- ① 171ヘダイヤル 1を押します
- ② 被災された方の 固定電話か 携帯電話の番号を押します
- ③ 30秒以内の伝言を録音します

### 伝言を聞く

- ① 171ヘダイヤル 2を押します
- ② 被災された方の 固定電話か 携帯電話の番号を押します
- ③ 伝言が再生されます

## 最低限そろえておきたい非常持出品

<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルメット</li> <li>非常持出品に入れてチェックしましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴重品</li> <li>現金</li> <li>印鑑</li> <li>車や家の予備の鍵</li> <li>現金</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>食料品</li> <li>非常食</li> <li>水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日用品</li> <li>懐中電筒</li> <li>ラジオ</li> <li>ライター</li> <li>予備の電池</li> <li>シートの</li> <li>カムテープ</li> <li>ウエットティッシュ</li> <li>はさみ</li> <li>筆記用具</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>衣類</li> <li>手袋</li> <li>下着</li> <li>靴下</li> <li>タオル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急薬品</li> <li>常備薬など</li> </ul>

### 防災メモ

井原市役所	00-0000
井原警察署	00-0000
井原消防署	00-0000
大江小学校	00-0000
大江公民館	00-0000

### 家族や親戚の連絡先


凡例	
	指定避難所 兼 指定緊急避難場所
	指定緊急避難場所
	一時避難所
	役に立つ店舗
	駐車場
	空き地・広場
	公園
	消火栓
	ホース格納庫
	消防機庫
	危険箇所
	H30.7月崩壊箇所
	危険区域
	防火水槽
	防火水利
	水路
	井戸
	ゴミステーション
	防災倉庫



# 木之子地区 西郷・東郷・森脇・笹井 防災マップ

いろんな情報を記入して、我が家の防災マップを作りましょう。

**木之子地区 西郷・東郷・森脇・笹井 防災4ヶ条**

災害が起きたら

1. 自分勝手な行動はさげよう
2. 声をかけ合って助け合おう

日頃から出来る事

3. 家族、地域で防災意識を高めよう
4. 向こう三軒両隣、地域のつながりで災害に備えよう

**防災メモ**

井原市役所	00-0000
井原警察署	00-0000
井原消防署	00-0000
木之子小学校	00-0000
木之子幼稚園	00-0000
木之子中学校	00-0000
木之子公民館	00-0000

**わが家の避難場所**

家族の集合場所 (家族が離れ離れになった場合)

**災害伝言ダイヤル「171」**

録音する

- ①171ヘダイヤル 1を押します
- ②被災された方の 固定電話か 携帯電話の番号を押します
- ③30秒以内の伝言を録音します

伝言を聞く

- ①171ヘダイヤル 2を押します
- ②被災された方の 固定電話か 携帯電話の番号を押します
- ③伝言が再生されます

**最低限そろえておきたい非常持出品**

- 貴重品**: 現金、重要書類、印鑑、貴重品入れ
- 日用品**: 懐中電灯、ラジオ、携帯充電器、ライター、ライター、ライター
- 食料品**: コレラクター、非常持出品
- 衣類**: 下着、タオル、防寒着
- 救急薬品**: 救急薬品、常備薬など

**避難所や親戚の連絡先**

避難所	
親戚	

**凡例**

避難所	緊急避難所	一時避難所	消火栓	消防機関	井戸	狭い道	危険区域	自動販売機
避難所	緊急避難所	一時避難所	消火栓	消防機関	井戸	狭い道	危険区域	自動販売機
避難所	緊急避難所	一時避難所	消火栓	消防機関	井戸	狭い道	危険区域	自動販売機

100m 作成 2023年 3月

# 木之子地区 下原 防災マップ

いろんな情報を記入して、我が家の防災マップを作りましょう。

**木之子地区 下原 防災7ヶ条**

災害が起きたら

1. 自分勝手な行動はさげよう
2. 自分の身は自分で守ろう
3. 声掛け合って避難所へ行こう

日頃から出来る事

4. 家族、地域で防災意識を高めよう
5. 懐中電灯の準備しておこう
6. 救助が必要な人の住まいの把握しておこう
7. 大雨の時の対応を考えておこう

**防災メモ**

井原市役所	00-0000
井原警察署	00-0000
井原消防署	00-0000
木之子小学校	00-0000
木之子幼稚園	00-0000
木之子中学校	00-0000
木之子公民館	00-0000

**わが家の避難場所**

家族の集合場所 (家族が離れ離れになった場合)

**災害伝言ダイヤル「171」**

録音する

- ①171ヘダイヤル 1を押します
- ②被災された方の 固定電話か 携帯電話の番号を押します
- ③30秒以内の伝言を録音します

伝言を聞く

- ①171ヘダイヤル 2を押します
- ②被災された方の 固定電話か 携帯電話の番号を押します
- ③伝言が再生されます

**最低限そろえておきたい非常持出品**

- 貴重品**: 現金、重要書類、印鑑、貴重品入れ
- 日用品**: 懐中電灯、ラジオ、携帯充電器、ライター、ライター、ライター
- 食料品**: コレラクター、非常持出品
- 衣類**: 下着、タオル、防寒着
- 救急薬品**: 救急薬品、常備薬など

**避難所や親戚の連絡先**

避難所	
親戚	

**凡例**

避難所	緊急避難所	一時避難所	消火栓	消防機関	井戸	狭い道	危険区域	自動販売機
避難所	緊急避難所	一時避難所	消火栓	消防機関	井戸	狭い道	危険区域	自動販売機
避難所	緊急避難所	一時避難所	消火栓	消防機関	井戸	狭い道	危険区域	自動販売機

100m 作成 2023年 3月

井原市木之子地区



# 2

# 災害図上訓練(DIG)を してみよう!

## 災害図上訓練(DIG)ってなあに？

### ■ 地図を使って、災害時の被害や対応を検討する訓練

Disaster(災害)Imagination(想像)Game(ゲーム)の頭文字を取って名づけられたもの。まず、大きな地図を囲みながら、住民みんなで被災想定区域等のハザードマップの情報や災害に関する基本情報を記入します。その上で、自宅から避難場所までの避難経路等を地図上に書き込み、災害に対する地域の強みや弱みを知り、参加者がそれぞれ災害時にとるべき行動を具体的にイメージします。また、地域で力になってくれそうな人は？配慮が必要な人は？など、日ごろから検討しておくべき対策についても考えてみましょう。



## どんな役に立つの？

- 地図上で簡単に地域の人たちと防災訓練ができる。
- 地図への書き込みで被災想定が視覚化される。
- 災害に対する地域の強みや弱みが確認できる。
- 地域の人たちとの連携が強化される。

# (1) 計画をしよう！

## 作業の流れ

### STEP 1 被災想定の確認

お住まいの市町村からハザードマップを入手し、浸水想定区域や土砂被害警戒区域等を確認します。

### STEP 2 地図の用意

できれば「まち歩き」で作成した地図を使いましょう。

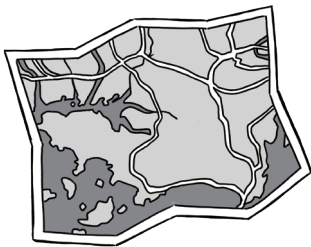
### STEP 3 準備物の手配

下記をご参照ください。

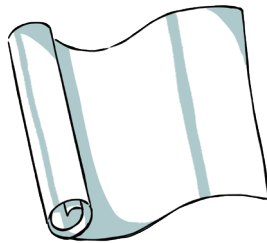
### STEP 4 実施日時や役割分担の決定等

実施日時や場所、役割分担を決めましょう。また、必要な人数が集まるよう、十分PRしましょう。

## 準備するもの



■ 地域の白地図(A0等)



■ 透明シート  
(地図が覆えるもの)

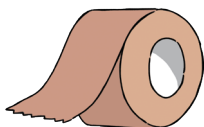


透明シートの  
書き込みが  
消せます

■ ベンジン(液体消炎鎮痛剤も使えます)、  
ティッシュペーパー



■ 名札



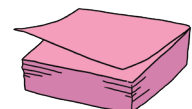
■ 養生テープ



■ 丸シール  
(5色程度)



■ 油性ペン  
(8色程度)



■ 大きな付箋


## (2) 災害図上訓練(DIG)を実践しよう!

### 災害図上訓練(DIG)実践の流れ

1 風水害、地震など災害の種類を決め、被災状況を想定する。  
(市町村が作成しているハザードマップを使用します)

2 地図上に透明シートを載せる。

3 ハザードマップを参考に、油性マジックを使用して、透明シートの上に風水害の場合の浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を記入する。

 ベンジン等で、何度も消せるので、  
どんどん書き込みましょう。












4 地図に基本情報(地域内の危険な場所や役立つ場所等)を書き込む。

- ・線路、道路 ・河川、水路 ・指定緊急避難場所 ・指定避難所
- ・避難に使いそうな場所(公園、広い駐車場等)
- ・病院、医院 ・商店(薬局、ホームセンター、コンビニ、スーパー等) 等

5 参加者がそれぞれ自宅から避難場所への最適な避難経路を考え、記入していく。  
(状況によっては、在宅避難や親戚・知人宅への避難も選択肢になります)

#### ■ 地図への書き込み(例)

 浸水想定区域	 水色 河川・水路等	 紫 医院・薬局
 土砂災害警戒区域	 薄い緑 避難に使いそうな場所 (公園、広い駐車場等)	 緑色 指定緊急避難場所・ 指定避難所
 黒色 鉄道	 茶色 道路	 ピンク 緊急時に物資が 購入できそうな商店

6

「避難した場所が安全かどうかどのようにして確かめるか」、  
「災害についてどのように正しい情報を得るか」、  
「避難場所に来ていない人がいる時、その人の安全をどのようにして確認するか」  
等を考え、話し合う。

7

「避難場所(避難所)の運営や役割分担をどうするか」を考え、話し合う。

## ポイント

### ■ 自分たちのまちの特徴を全員で把握しましょう！

地図に色を付けたり、安全な場所や危険な場所等を確認しながら、防災に関する地域の特徴を把握します。また、でき上がった地図を見ながら、参加者全員でその特徴を確認し、意見を出し合います。

### ■ DIGに堅苦しいルールはありません！

DIGでは、意見交換を行いながら、みんなで楽しく作業をしましょう。自由かつ活発に意見を交換できる雰囲気づくりを意識することが大切です。





# 3

## 防災に関する研修会等に講師をご紹介します

岡山県では、市町村や自主防災組織等が主催する防災研修会や防災訓練等に講師をご紹介します。地域での自主防災活動や、家庭や地域で住民の皆様が取り組むべき防災対策を勉強したい場合等にお気軽にご相談下さい。

### 対象

- 消防防災関係機関・団体が開催する研修会、座談会等
- 町内会、防犯活動団体等の地域でコミュニティ活動を行う団体が開催する勉強会、研修会等
- 自主防災組織が開催する防災訓練、研修会等
- 自主防災組織の結成や地域での防災活動の充実を考えている町内会役員やリーダーの方々の勉強会
- その他、防災に関する研修や訓練 等

### 講師

ご要望の内容により、元消防職員や防災士等の登録講師等を派遣し、講演・講話、訓練指導、実技指導等を行います。

#### ■ 講話テーマの例

自主防災組織の 作り方や任務分担の仕方	防災訓練の 実施方法	防災マップ 作成指導	災害図上訓練 (DIG) 等
------------------------	---------------	---------------	-------------------



### お申し込み方法

最寄りの県民局地域づくり推進課または危機管理課にお問合せの上、お申し込み下さい。

**岡山県備中県民局地域づくり推進課**

電話 086-434-7003

**岡山県危機管理課**

電話 086-226-7562

詳しくは岡山県危機管理課のホームページをご覧ください。 ▶ <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/12/>